



平成30年消防白書

～設置していますか？住宅用火災警報器～

予防課 ☎65-1342 ㊟34-1189



平成30年新居浜市消防白書がまとまりました。
火災件数は33件、救助出動件数は29件、救急出動件数は5,423件でした。

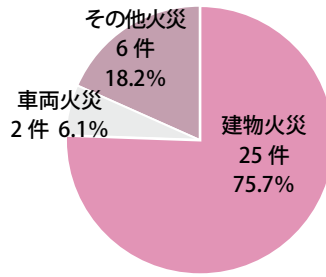
火災件数は昨年と比較すると6件の増加、救急出動件数は昨年の過去最多に迫る数値となり、現在も高水準で推移しています。

火災概況

火災件数は33件、火災による死者は1人、負傷者は4人となっています。

火災種別では、建物火災が最も多く、全体の4分の3を占めており、建物用途では、住宅火災が20件（共同住宅・併用住宅などを含む）と最も多く発生しています。

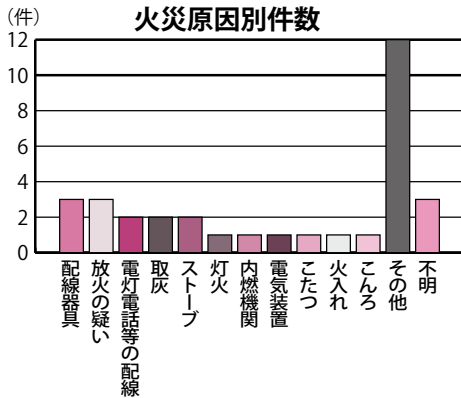
火災種別件数



建物火災

出火原因では、「配線器具」、「電灯・電話等の配線」など電気火災が多い傾向にあります。各家庭において「電気プラグの定期的な掃除」、「電気配線の被覆の剥がれや炭化の有無の確認」を行い、「過剰なたこ足配線をしない」など適切な取り扱いをしましょう。
また、住宅用火災警報器の設置は法律で義務付けられています。まだ設置していない人は早期に設置し、警報器設置後は適切な維持管理をしましょう。

火災原因別件数

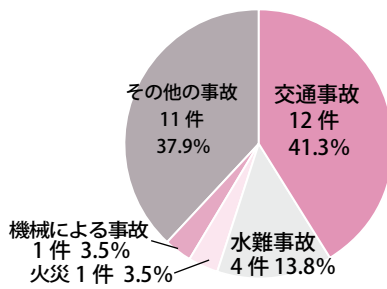


救助概況

救助出動の件数は29件、総救助人員は28人となっています。昨年と比較すると、出動件数は11件の減少、救助人員は増減なしとなっています。

内容は交通事故、水難事故、火災、機械による事故など複雑多岐にわたっており、これらに的確に対応できる高度で専門的な救助活動が求められています。

事故種別救助出動件数



水難事故救助活動訓練

救急概況

救急出動の件数は5,423件、搬送人員は4,922人となっています。これは1日当たり約15回救急車が出勤し、市民の約24人に1人が搬送されたこととなります。

救急出動件数は過去最多である昨年の5,430件に迫る数値となりました。一方、搬送人員は過去最多となり、人口が減少傾向にある中、高水準で推移しています。

重篤な症状の人を一刻も早く処置、搬送できるように救急車の適正な利用をお願いします。

新居浜市の人口と救急出動件数の推移

